



2026年3月26日

各位

会社名 乾汽船株式会社
代表者名 代表取締役社長 乾 康之
(コード番号: 9308 東証スタンダード)
問合せ先 経理部長 一井 聡
(TEL. 03-5548-8613)

特別損失(減損損失)の計上 並びに2026年3月期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026年3月期第4四半期連結会計期間(2026年1月1日~2026年3月31日)において、下記の通り減損損失を計上することといたしました。

これを受け、2026年2月12日に公表した2026年3月期(2025年4月1日~2026年3月31日)の連結業績予想および配当予想を下記の通り修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 特別損失(減損損失)の計上について

当社グループの不動産事業において、プラザ勝どき(1987年12月竣工)については、当初、再開発による建替えを前提に基本設計業務費等を建設仮勘定に計上しておりましたが、計画の再検証の結果、建替え計画からリノベーションを中心とした活用方針へ見直すことといたしました。これにより当該基本設計の使用見込みがなくなったため、当該建設仮勘定を減損処理し、減損損失425百万円を計上いたします。

2. 2026年3月期連結業績予想値の修正(2025年4月1日~2026年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 32,889	百万円 1,325	百万円 1,148	百万円 850	円 銭 33.75
今回発表予想(B)	32,889	1,325	1,148	558	22.16
増減額(B-A)	—	—	—	△242	—
増減率(%)	—	—	—	△34.3%	—
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	31,770	3,656	3,836	5,021	199.88

3. 業績予想の修正理由

親会社株主に帰属する当期純利益については、特別損失として上記の減損損失を計上することに伴い、前回発表予想より下方修正いたしました。

なお、外航海運事業、倉庫・運送事業は概ね前回発表予想通りに進捗しております。

4. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想	円 銭	円 銭 7.13	円 銭 10.13
今回発表予想		3.65	6.65
当期実績	3.00		
(ご参考)前期実績 (2025年3月期)	6.00	70.00	76.00

5. 配当予想の修正理由

今回の業績予想修正に伴い、既報の配当方針に基づき、年間配当金（合計）を6.65円に修正しております。

当社は、「事業特性」、「中長期的成長を重視した経営資源の配分」、「財務基盤」の3つのバランスがとれた株主還元策であることを基本として、「良いときは笑い、悪いときにも泣かない」という方針を取っております。

業績に応じて、良いとき、悪いときの判断基準および最低配当額を定め、「良いとき」には配当性向の累進により増配し、「悪いとき」にも無配を前提にはいたしません。

判断基準	配当目標計算基準
良いとき	配当性向 30～45%程度
基本	配当性向 30%程度
悪いとき	年間6円

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上